

# 横須賀市役所内で行われる訓練取材について

令和7年12月5日  
横須賀市

## 1. 事前登録

12月18日(木)の訓練取材及び市長へのぶら下がり希望される方は、12月12日(金)正午までに、市長室危機管理課あてに別紙「取材申込書」をメールでご返送ください。

## 2. 取材対象

### (1) 市長室内

9時40分頃の米海軍から市長への第一報受信場面(5分間程度)

### (2) 災害対策本部室内

9時55分頃から開始される、危機管理監を始めとする横須賀市職員と米海軍や国等から派遣される連絡員との情報共有場面(1時間半程度)

## 3. 訓練当日

### (1) 集合場所: 消防局庁舎4階エレベーターホール

### (2) 集合時間: 12月18日(木)9:20

消防局庁舎4階エレベーターホールに受付を設けます。取材される方は、必ず受付を済ませてください。

市長室内の取材については、消防局庁舎4階から、市職員の誘導により移動しますので、受付終了後、市職員の指示があるまで周辺で待機してください。

## 4. その他

○訓練に関する事前レクチャーを12月16日(火)市役所正庁にて、市長記者会見後に実施予定です。  
参加希望の報道機関様は、前日までに広報課までご連絡ください。

○訓練取材中は、社名入り腕章の着用をお願いします。

○訓練実施中の取材は、写真撮影及び映像撮影のみとし、訓練参加者へのインタビューや発話はご遠慮ください。

○市長室内への入退室は、市職員の指示に従ってください。

○災害対策本部室は、別添3に示す「取材者出入口」が開いている間のみ、入室してください。

閉じている場合は、訓練の準備等をしているので、入室はご遠慮ください。

○その他、訓練実施中は、市職員の指示に従って行動してください。

○訓練終了時、「災害対策本部室」において、市長のぶら下がりを用意しています。

○米海軍基地内での訓練取材を希望される方は、米海軍横須賀基地広報(Tel816-5077)へお問合せください。

## (連絡先)

横須賀市市長室危機管理課 総務・原子力防災係

TEL: 046-822-8226 FAX: 046-827-3151 電子メール: [ps-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:ps-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp)

## 令和7年度横須賀市の原子力空母に係る日米合同訓練の概要

■ 実施日時: 令和7年12月18日(木) 9時30分から2時間半程度

■ 参加機関:

日本側: 横須賀市、政府機関(外務省、内閣府、原子力規制庁、防衛省、海上保安庁、海上自衛隊)、  
神奈川県、神奈川県警察、横須賀共済病院

米国側: 米海軍、米国大使館

■ 訓練想定・訓練内容

### ・訓練想定

原子力の訓練を受けた1名の乗組員が、原子力空母ジョージ・ワシントンの推進機関で、補助系統のメンテナンスを行っている最中に、微量の放射能を含む水が、予期せず補助系統から流出する。この少量の水は、流出口から拡散し乗組員の片手にも付着する。

次に、この乗組員は直ちにバルブを閉め流出を止めるが、自分の胸部をつかみ、その場で一時的に意識を失う。空母の医療担当者は直ちに救命措置を行い、患者は意識を取り戻すが、胸部痛と呼吸困難を訴える。空母の医療担当者は、生命に関わる状況だと判断し、心臓発作の治療を受けられるよう、乗組員を横須賀米海軍病院に搬送することを決定する。

### ・訓練内容

#### ①情報伝達・共有、②広報、③基地内従業員への連絡・通報

この状況について、米海軍は迅速に政府機関と横須賀市に事態を連絡、電話による情報伝達を確立、連絡官を横須賀市に派遣することで、事態に関わる情報伝達を行う。

横須賀市は、この事態の連絡を受けて災害警戒本部を設置し、派遣された政府機関の連絡員と緊密に協力することで情報伝達と共有を行うとともに、迅速な広報を行う。

また、米海軍は日本人従業員を含む基地関係者にも事態を通報し、業務を安全に続けることができると伝達する。

#### ④急病患者搬送及び治療、⑤日米合同モニタリング

乗組員は、横須賀米海軍病院到着後に初期検査を行い、乗組員の胸部痛は直ちに生命に関わるものではないと判明するが、その後の検査結果により、心疾患のマーカ値が上昇していることが判明する。

そこで、横須賀米海軍病院は地域の日本の病院に対し、乗組員の胸部痛を更に診断するための調整を行い、その結果、横須賀共済病院とその心臓専門医は乗組員に低レベルの放射能が付着している可能性を承知の上で、診断を行うことに同意する。横須賀米海軍病院では、乗組員の様態が安定したことにより横須賀共済病院に搬送する前に、乗組員の片手に付着した低レベルの放射能を湿った布で拭き取り、他に放射能が付着していないことを確認する。

なお、乗組員が横須賀米海軍病院で治療を受けている間、米海軍と原子力規制庁は、12号岸壁並びに横須賀米海軍病院で放射線モニタリングを行い、放射線に関わる懸念は存在しないことを確認する。また、乗組員の搬送で、日本の土壌に測定可能な放射能は拡散しなかったことが検証される。

最後に米海軍と原子力規制庁が行った全放射線モニタリングにより、この事態による通常レベルの放射能からの増加は見られないことが判明する。

## ■ 訓練内容

## ①情報伝達・共有

- 日米間の密接な情報伝達・共有
- 横須賀市災害警戒本部に日米のあらゆる情報を集約

## ② 広報

- 市民生活の安全と安心確保のため、迅速な広報(3回にわたり  
プレス・リリースの発出)

### ③基地内従業員への連絡・通報

- ## ■基地内従業員へ迅速な連絡・通報

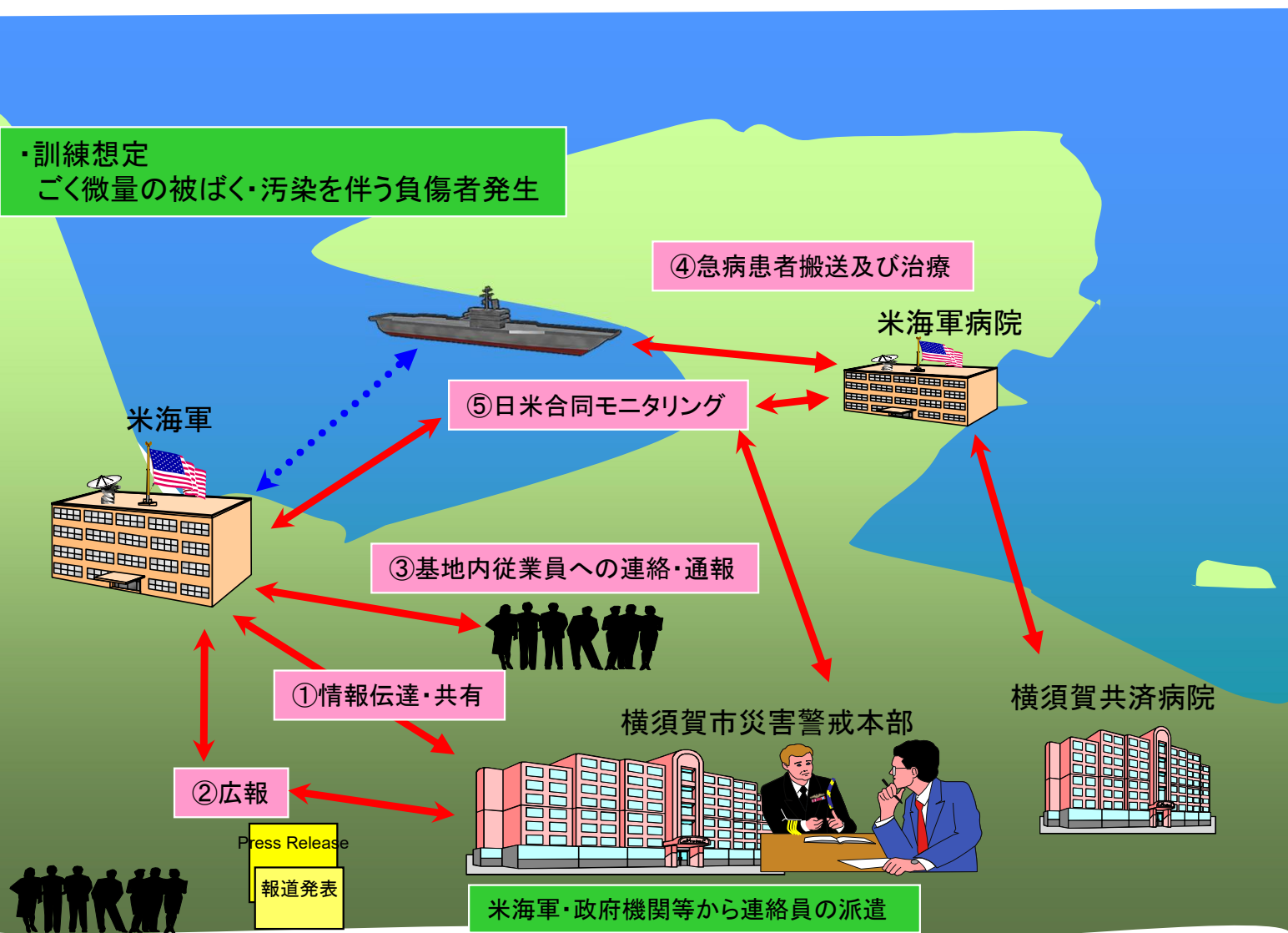
#### ④急病患者搬送及び治療

- 搬送に伴う者の2次被ばくを防ぎながらの負傷者の搬送、除染、治療
- 患者が医学的に安定したと判断されるまでは、治療が放射線管理に優先される

## ⑤日米合同モニタリング

- 日米の専門家による合同環境モニタリングの実施(空母停泊場所周辺と米海軍の患者搬送口付近)

## ■ 日米合同訓練のイメージ

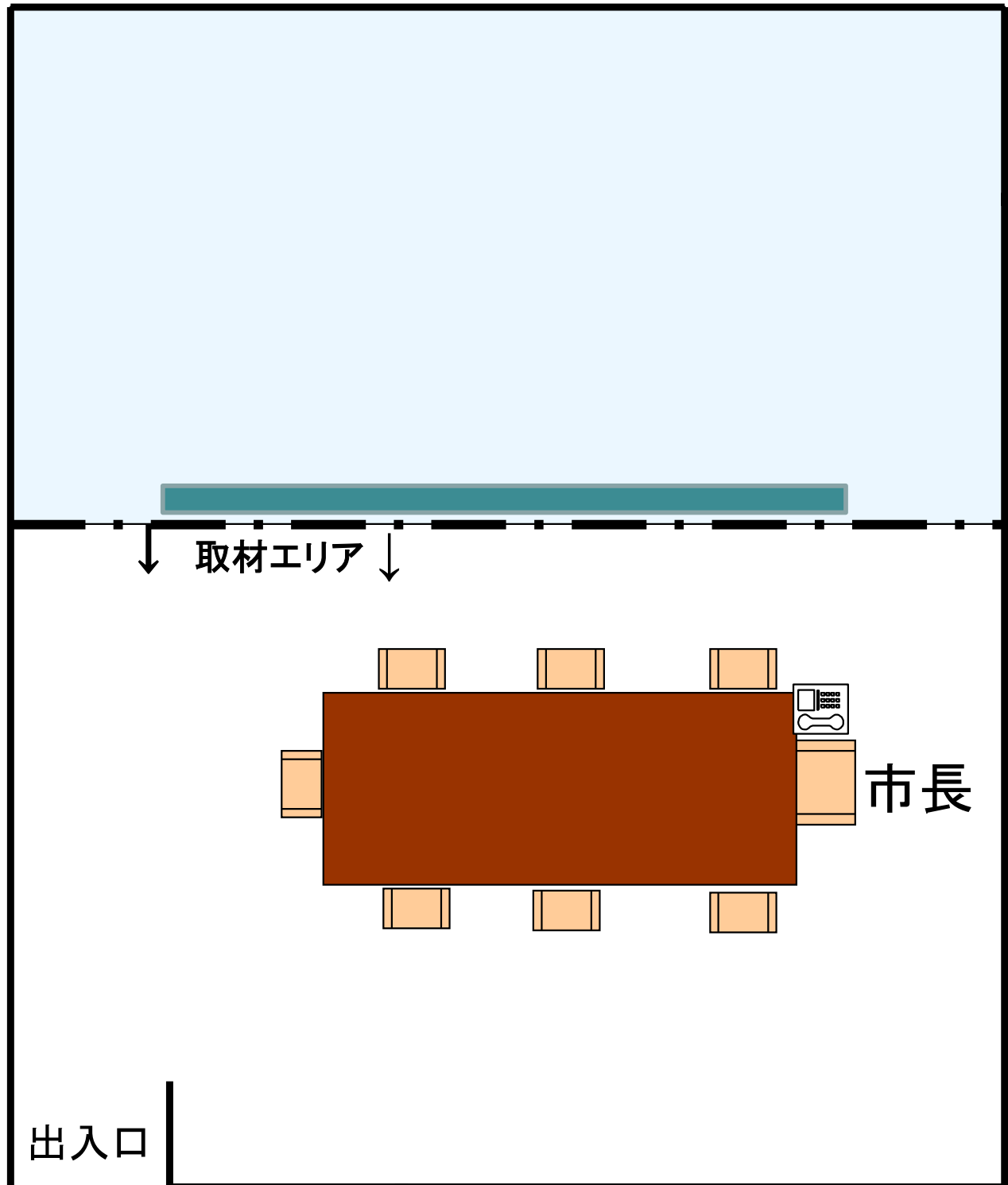


# 日米合同訓練 タイム・テーブル

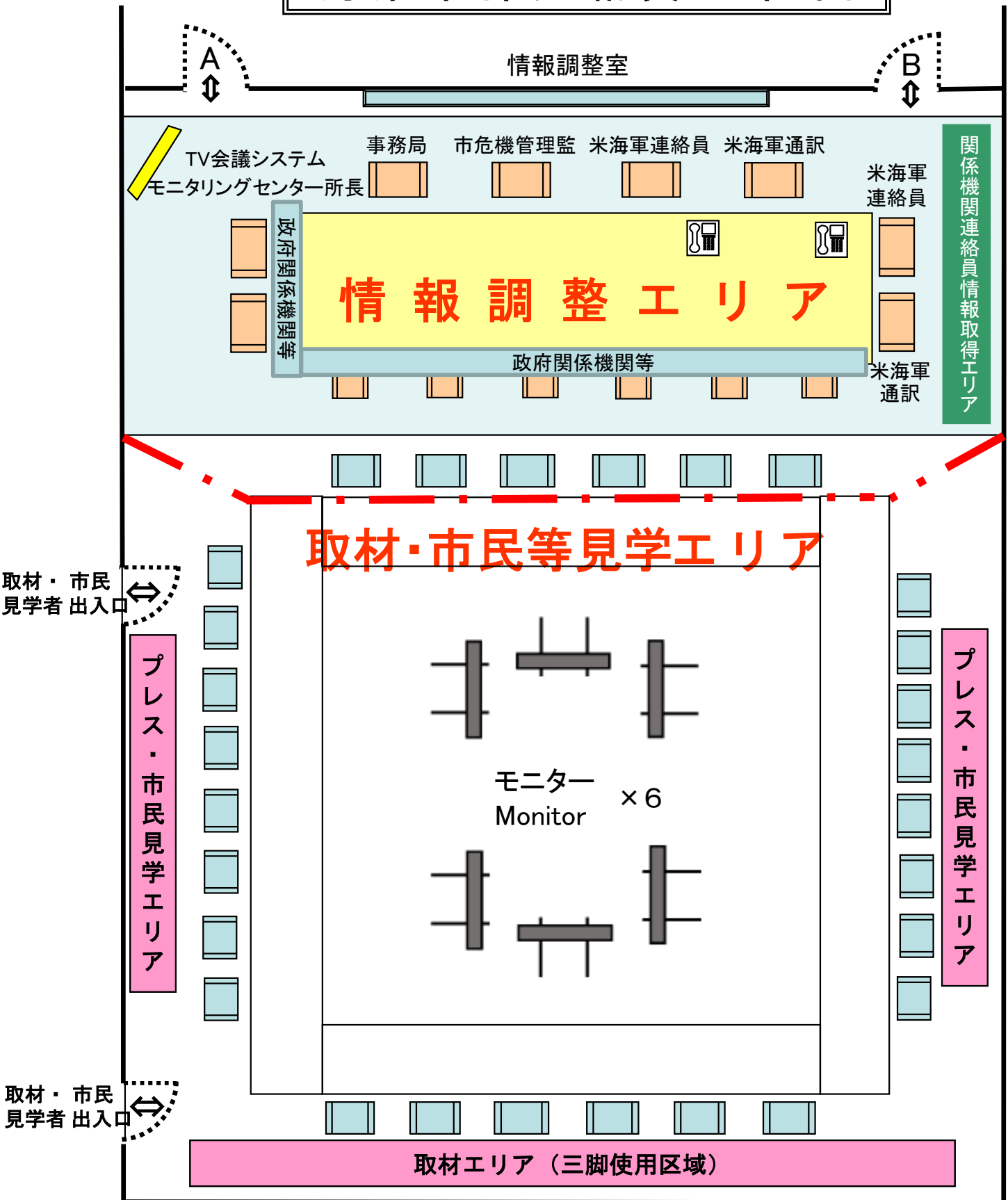
| 時刻    | 市役所内<br>(災害対策本部室)   | 米海軍施設内      |             |            |
|-------|---------------------|-------------|-------------|------------|
|       |                     | ジョージ・ワシントン  | 12号バース      | 米海軍病院      |
| 9:30  | 米海軍からの第1報           | 事象発生        |             |            |
|       | 警戒本部の立上げ            | 艦内アナウンス     |             |            |
|       | 米海軍・国・県からの<br>連絡員到着 | 負傷者搬送       |             |            |
|       | 第1回報道発表(想定)         |             | 負傷者救急車へ収容   |            |
| 10:30 |                     | 基地内従業員への第1報 |             |            |
|       | 第2回報道発表(想定)         |             | 日米合同モニタリング  | 救急車病院到着    |
|       | 日米で情報共有             |             |             | 日米合同モニタリング |
|       |                     |             | 基地内従業員への第2報 |            |
| 11:30 | 第3回報道発表(想定)         |             |             |            |
|       | 警戒本部の解散             |             |             |            |
| 12:00 |                     |             |             |            |

(注) 時間については、訓練当日の進行状況により前後することがあります。

市長室配置図



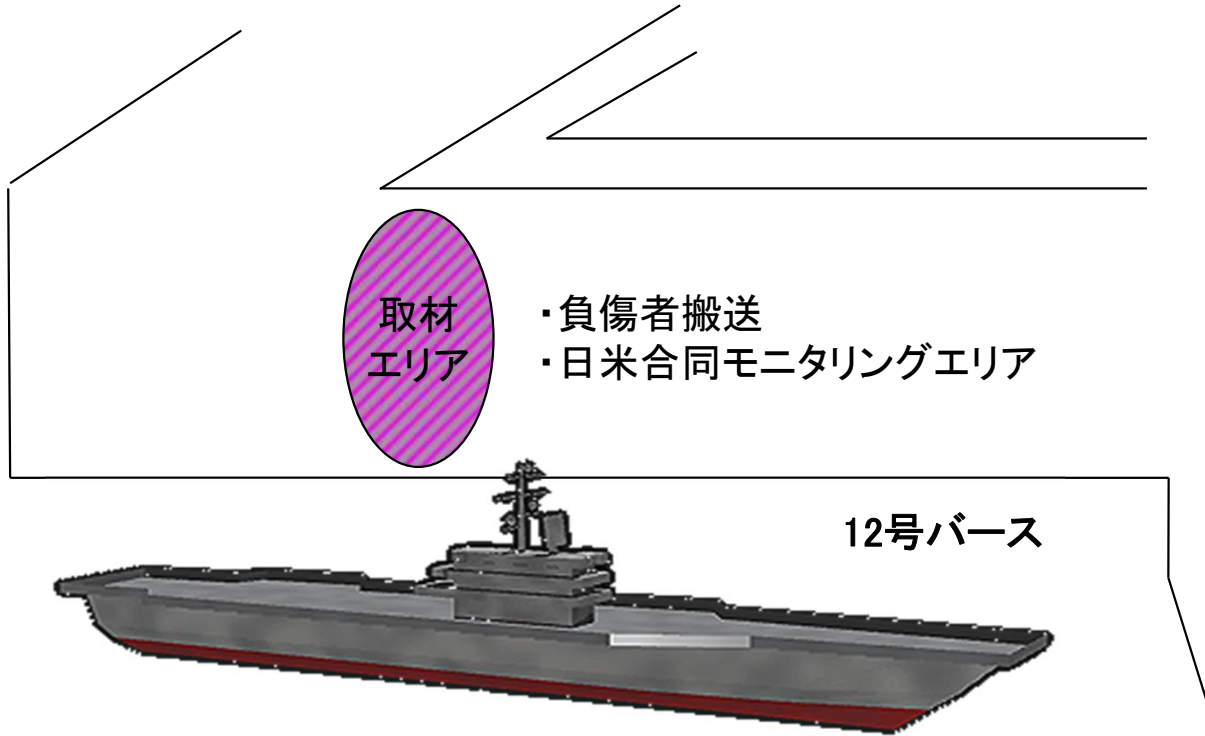
## 対策本部連絡員配置図



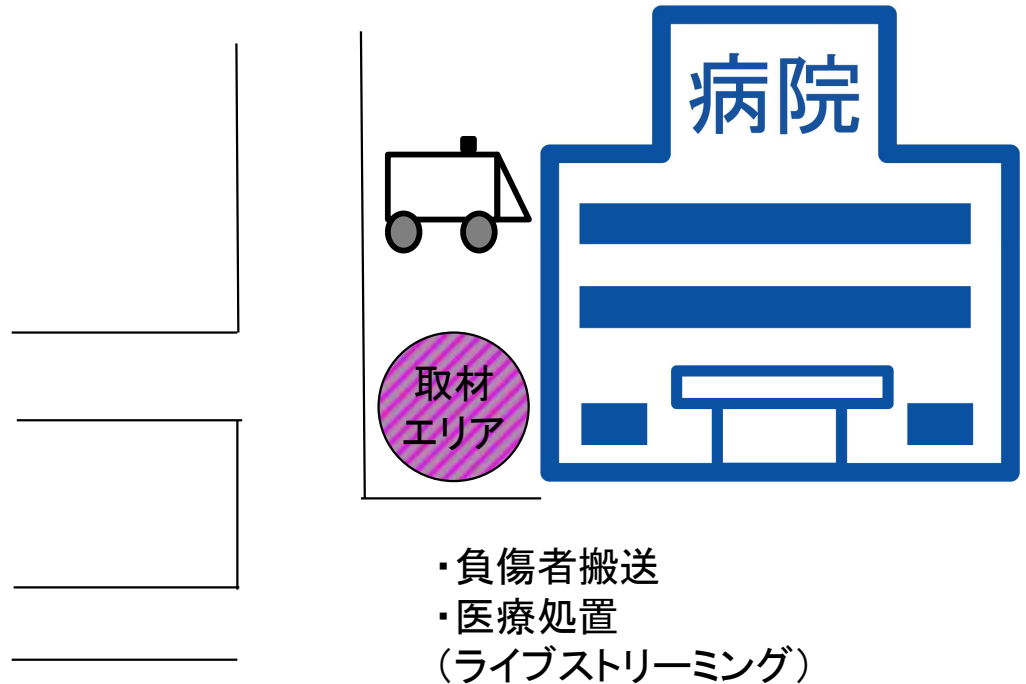
取材は、市民等の見学を妨げないように、「取材エリア」のみでお願いします。三脚は「三脚使用区域」内のみ使用可です。

＜参考＞日米合同モニタリング及び負傷者搬送訓練  
における取材エリア

《12号バース》



《米海軍病院》





令和7年12月5日

米海軍横須賀基地司令部 広報・報道部

報道関係者各位

12月18日(木)に実施されます日米合同訓練の米海軍横須賀基地内における取材の御案内です。

- 集合時間：12月18日（木）午前8時40分
- 集合場所：米海軍横須賀基地正面ゲート（徒歩でお越しください）
- 訓練の概要等：別添参照

基地内に入場後取材終了までの間は、団体行動となり、原則として、途中退場等、各社・個別対応は出来かねます。また訓練実施中の取材は、写真撮影及び映像撮影のみとし、訓練参加者へのインタビューや発話は御遠慮ください。その他基地内においては、当方の指示に従って行動をしてください。

基地内の取材を希望される方は、Eメールで12月10日（水）正午（時間厳守）迄に、下記の必要事項を米海軍横須賀基地司令部 広報・報道部まで御連絡下さい。

なお、受け入れ人数に制限がある為、テレビ局からは各社3名様、新聞社や通信社からは各社2名様までのお申し込みとさせていただきます。

また、米海軍病院での取材では、別途人数制限があります。予めご了承ください。

#### ●取材申請の必要事項

取材される方の、以下の情報が必要となります。

1. お名前（漢字とローマ字両表記で）
2. 所属する会社、団体名
3. 生年月日（西暦）
4. 国籍
5. 携帯電話番号

また、取材当日は以下の物をお持ちください。

1. 各社の腕章
  2. 基地指定の身分証明書
    - ①パスポート、②写真付きマイナンバーカード、
    - ③運転免許証＋本籍地記載の住民票の2点セット、
    - ④写真付き住民基本台帳カード、のいずれか。
- 期限切れのものは受付不可です。

米海軍横須賀基地への入場の手続き上、上記個人情報を提出して頂く必要があります。不備がある場合や、身分証明書をお忘れの場合は入場できませんので御注意ください。

【連絡先】米海軍横須賀基地司令部 広報・報道部 電話：046-816-5077/2563/2566  
Eメールアドレス：cfaycomrel@gmail.com